

主日礼拝

2024年03月10日

午前10時30分

前奏 「愛するイエス、汝、何の罪ゆえに(313番)」
(J.ブラームス)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

神の約束は、ことごとくこの方において「然り」となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して「アーメン」と唱えます。わたしたちとあなたがたとをキリストに固く結び付け、わたしたちに油を注いでくださったのは、神です。神はまた、わたしたちに証印を押して、保証としてわたしたちの心に“霊”を与えてくださいました。
(コリントの信徒への手紙Ⅱ 1:20～22)

頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ち ちと み子に
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊に

受難節のリタニー

《受難節第4主日》

司式者：私たちは十字架のあがないを否定し、自分たちの傲慢によって生きていこうとしたことを告白します。これからはもっと、私たちに十字架による赦しを受け入れる信仰を与え、また私たちが人を赦すことのできる愛を与えてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：イエスさまが敵を赦しながらも、十字架の上で苦しみを受けたことを思いつつ、このろうそくを消します。(消火)

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しゅよあわれみをしゅよあわれみをしゅよあわれみ
キリエ エレイソン
しゅよあわれみ しゅよあわれみ しゅよあわれみ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

聖書 ヨハネによる福音書 12:1～8

新約(新共同訳) P191

1 過越祭の六日前に、イエスはベタニアに行かれた。そこには、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロがいた。2 イエスのためにそこで夕食が用意され、マルタは給仕をしていた。ラザロは、イエスと共に食事の席に着いた人々の中にいた。3 そのとき、マリアが純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ持って来て、イエスの足に塗り、自分の髪でその足をぬぐった。家は香油の香りであらばいになった。4 弟子の一人で、後にイエスを裏切るイスカリオテのユダが言った。5 「なぜ、この香油を三百デナリオンで売って、貧しい人々に施さなかったのか。」6 彼がこう言ったのは、貧しい人々のことを心にかけていたからではない。彼は盗人であって、金入れを預かっていたながら、その中身をごまかしていたからである。7 イエスは言われた。「この人のするままにさせておきなさい。わたしの葬りの日のために、それを取って置いたのだから。8 貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるが、わたしはいつも一緒にいるわけではない。」

賛美 298 「ああ主は誰がため」

Alas! and did my Savior bleed
詞 : Isaac Watts, 1674-1748

BALLERMA
曲 : François H. Barthélemon, 1741-1808



あ あ 主 は た が た め 世 に く だ り て、

か く ま で な や み を う け た ま え る。

- 1 ああ主は誰がため 世にくだりて、
かくまでなやみを うけたまえる。
- 2 わがため 十字架に なやみたまう
こよなきみ恵み はかりがたし。
- 3 主は人の罪を 負いたまえば、
照る日もかくれて 闇となりぬ。
- 4 十字架のみもとに ころせまり、
涙にむせびて ただひれ伏す。
- 5 なみだも恵みに むくいがたし、
この身をささぐる ほかはあらし。

説教 「十字架への備え」

賛美 296 「いのちのいのちよ」

Jesu, meines Lebens Leben
詞 : Ernst C. Homburg, 1607-1681

JESU, MEINES LEBENS LEBEN
曲 : Wolfgang Weesnitzer, 1629-1697



1 い の ち の い の ち よ、 死 の 死 なる 主 よ、
2 あ が ば け り たい ち の ち を 捨 て て
3 わ が た め の い の ち を 捨 て て
4 主 の 命 を 捨 て て
5 主 の 命 を 捨 て て
6 主 の 命 を 捨 て て

主 我 ら 主 の 命 を 捨 て て
あ が ば け り たい ち の ち を 捨 て て
わ が た め の い の ち を 捨 て て
主 の 命 を 捨 て て
主 の 命 を 捨 て て
主 の 命 を 捨 て て

は め ぐ の い の ち の 命 を 捨 て て
あ が ば け り たい ち の ち を 捨 て て
わ が た め の い の ち を 捨 て て
主 の 命 を 捨 て て
主 の 命 を 捨 て て
主 の 命 を 捨 て て

1-6 か ん しゃ さ さ げ よ う、 あ い す る イ エ ス に。

- 1 いのちのいのちよ、死の死なる主よ、
主イエスはわがため いのちを捨てて
破滅の中より われらをあがなう。
感謝ささげよう、愛するイエスに。
- 2 あざけり、中傷、鞭打ち、つばき
あらゆる苦しみ み子は耐えられ
悪鎖より われら解き放つ。
感謝ささげよう、愛するイエスに。
- 3 わが痛みをとり 病をにない
憐れみ受けた主 平和与える。
主のみ傷により われらいやされる。
感謝ささげよう、愛するイエスに。
- 4 次の冠 主はかぶせられ
あざけり受けつつ 苦しみに耐え
栄光の冠 われらに与える。
感謝ささげよう、愛するイエスに。
- 5 主のへりくだりは おごりを砕き
主のみ苦しみに 喜びとなる。
主の死はわが死の 恐れ取り除く。
感謝ささげよう、愛するイエスに。
- 6 われらのかわりに 受けた苦しみ
痛みとおのき むごい責め苦も、
その十字架の死も みなわれらのため。
感謝ささげよう、愛するイエスに。

派遣

- 司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
- 会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「フーガ 短調」 (J.S.バッハ)

司式：泉 克行
説教：向井 希夫牧師
奏楽：玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。